

指揮 飯森 範親 (山響音楽監督)

桐朋学園大学卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積む。94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、大阪・オペラハウス管弦楽団常任指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。03年、NHK交響楽団定期演奏会でマーラー：交響曲第1番を指揮し、年間ベスト10コンサートに選ばれる。04年シーズンより山形交響楽団の常任指揮者に着任、次々と新機軸を打ち出してオーケストラの活動発展と水準の向上に目覚ましい成果を挙げている。大きな注目が集まる中、07年より音楽監督に就任した。

海外ではフランクフルト放送響、ケルン放送響、チェコフィル、プラハ響、モスクワ放送響、ホノルル響など世界的なオーケストラを指揮。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督に就任、日本人指揮者とドイツのオーケストラの組み合わせとしては史上初の快挙となる「ベートーヴェン交響曲全曲」のCDをリリースした。さらに06年日本ツアーを成功に導いたことも記憶に新しい。

国内外の多くのオーケストラとの間に築かれた類稀な信頼関係、信頼を裏付ける着実な活動の輪の広がりが高く評価され、05年「渡邊暁雄音楽基金 音楽賞」を受賞。さらに東京交響楽団定期演奏会におけるヤナーチェク「マクロプロス家の秘事」をはじめとする、近現代作品や日本人作品の初演・再演に対する業績により、06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞、06年度 中島健蔵音楽賞を相次いで受賞した。

現在、山形交響楽団音楽監督、東京交響楽団正指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団名誉指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。

ヴァイオリン 滝 千春

1987年生まれ。2001年、ノヴォシビルスク国際ヴァイオリンコンクール(ジュニア部門)第1位。2002年4月フランスにて開催された「若い音楽家のためのメニューイン国際ヴァイオリンコンクール」(ジュニア部門)で第1位。9月には桐朋学園音楽部門創立50周年記念演奏会にて小澤征爾指揮、桐朋OBオーケストラと共演。2003年9月には、「京都の秋 音楽祭」で大友直人/京都市交響楽団と共演及びソロ・リサイタルを行い好評を博す。2004年は、ゲルト・アレブレヒト/読売日本交響楽団、神奈川フィル、渡辺一正/新日本フィル、渡辺一正/東京フィル、大友直人/東京交響楽団、円光寺雅彦/大阪フィルとの共演、また飯守泰次郎/関西フィル定期演奏会の出演し絶賛を博した。2005年6月には、ユーベル・スターン/東京交響楽団、8月には、円光寺雅彦/読売日本交響楽団、そして2006年5月には飯森範親/東京交響楽団と共演。

2007年1月には小林研一郎/日本フィル、3月にはパイロン・フィデチス/山形交響楽団、8月にはシズオ・クワハラ/名古屋フィル、飯森範親/大阪フィル、そして円光寺雅彦/東京交響楽団と共演した。2008年5月にはギリシャにおいて、レオシュ・スヴァロフスキー指揮アテネ国立交響楽団との共演。2008年8月には東京の紀尾井ホールで清水和音との共演でデビュー・リサイタルを行い、高い技術と音楽性で実力を示した。10月にはドイツのバッサウでニーダーバイエルン交響楽団とブラームスを共演し好評を得た。

これまでに上西玲子氏、辰巳明子氏に師事。2005年3月桐朋女子高等学校音楽科卒業。現在はチューリヒ音楽大学でザハール・ブロン氏に師事している。将来もっとも期待できる新星ヴァイオリニストの一人として注目を集めている。


山形交響楽団

飯森範親を音楽監督に迎え、現在定期演奏会を年間12プログラム・21公演(特別公演を含む)を中心に年間約150回の演奏会を行っている山形交響楽団は、1971年山形県出身の指揮者 村川千秋によって準備オーケストラを組織し、翌1972年東北地方では初めてのプロ・オーケストラとして誕生した。同年8月運営母体として山形交響楽協会を設立し、9月には、第1回定期演奏会を開催し、74年、山形交響楽協会が公益社団法人として認可され、演奏活動範囲は、東北6県・新潟県まで拡大した。その後、山形県芸術文化会議賞、齋藤茂吉文化賞、第28回昭和53年度河北文化賞を相次いで受賞。2001年6月には30年間に及ぶ学校対象の演奏会等の音楽教育普及活動が評価され、サントリー地域文化賞を、また2007年11月には地域文化功労者文部科学大臣表彰を受けるなど、名実共に東北地方のみならず日本の音楽文化を代表するオーケストラとしての地位を確立した。

1987年サントリーホールにて初の東京公演を成功させ、88年、90年、93年とサントリーホールで、95年には浜離宮朝日ホール、98年、01年、05年、08年には、すみだトリフォニーホールでの「地方都市オーケストラ・フェスティバル」への参加、また03年より毎年6月にオペラシティにて「さくらんぼコンサート」を開催し、これまでに15回の東京公演を成功させている。1991年7月、アメリカ・コロラド州で開催された「コロラド・ミュージック・フェスティバル」に参加、初の海外公演を行った。

2005年山形交響楽団初のコンポーザ・イン・レジデンスに千住明氏が就任し3曲の委嘱作品を発表し高い注目を浴びた。2009年からは西村朗が就任する。また、2006年、日本初となるオーケストラ独自のCDレーベル、『YSO live』を立ち上げ、各方面から高い評価を得ている。


現在、音楽監督に飯森範親、創立名誉指揮者に村川千秋、名誉指揮者に黒岩英臣、指揮者に工藤俊幸、首席客演指揮者に阪哲朗を擁し、定期演奏会・依頼演奏会・スクールコンサートやテレビ・ラジオ出演など、年間に約150回の演奏活動を展開している。



京王新線・初台駅
東口直結

約50店舗のレストラン&ショップでお待ちしています◎東京オペラシティ

コンサートとご一緒に、ショッピング・グルメをお楽しみください。



お得な
クーポンも
あります。

www.tokyooperacity.co.jp お問い合わせ/東京オペラシティ商業テナント会 TEL. 03-5353-0700